

を整理するとともに、平成31年度の改定に向け、基礎調査に着手していきます。

なお、千代の台団地の建て替えについては、第1期工事として1号棟56戸のうち32戸の建設工事を、平成30年7月をもちに着手していきます。



▲千代の台団地の建て替えに当たり、解体工事が完了した敷地

空き家対策

空き家対策については、平成28年度に策定した『登別市空き家等対策計画』を推進するとともに、空き家の利活用を促進するため、新たに空き家を購入し、自己の居住用として改修する場合における補助制度を創設するなど、総合的かつ計画的な空き家対策を推進していきます。特に、子育て費用が増大する世帯の経済的負担の軽減を図るため、18歳未満の子ども1人につき補助金額を加算することにより、子育て世帯の定住促進にも繋げていきます。

安定したライフライン

水道事業と下水道事業については、市民生活や企業の経済活動を支えるライフラインとして重要な役割を担っており、持続的なサービス提供のためには施設と経営の健全性を維持しなければなりません。

しかし、今後は人口減少に伴う事業収入の減少傾向は避けられない状況であることから、中長期的な視点から計画的に運営する必要があります。

水道事業については、平成29年度に策定した『登別市水道事業経営戦略』において計画期間内に財源不足が生じる見込みとなることから、『登別市水道事業運営審議会』に対し、料金改定に関する諮問を行い経営健全化に向け取り組んでいきます。

また、昭和41年に供用を開始した登別温泉浄水場は経年劣化が進み、耐震性も確保されていないことから、施設の全面



▲安全安心な水道水を供給するため、建て替えを行う登別温泉浄水場

更新に着手していきます。

簡易水道事業については、『登別市簡易水道事業経営戦略』の平成30年度中の策定を目指し、料金改定の必要性についても検討するとともに、平成31年度からの公営企業会計の移行に向けた準備を進めていきます。

下水道事業については、平成28年度に『登別市下水道事業経営戦略』を策定したところであり、平成30年1月には、約20年振りとなる下水道使用料の改定を行いました。これにより、当面の間は、資金不足の発生を回避できる予定でありますので、引き続き、経営戦略に基づき、計画的な経営を進めていきます。

また、下水道施設の整備については、集中豪雨に対する浸水被害の軽減を図るため、常盤町地区の雨水排水管の整備を行うとともに、常盤町地区の汚水管や若山浄化センターの施設・設備の改築更新を引き続き進めていきます。

重点施策③

持続・発展する

産業振興のまちづくり

観光産業を軸とした全市的なまちの活性化を図る

まちの活力に繋がる源の一つは、元気な産業活動です。

人口減少社会において、雇用を創出し、活力を維持していくためには、持続・発



▲環境省の重要湿地に選ばれている『キウシト湿原』には道内外から多くの人が訪れる

展し続けることのできる地場産業が重要となります。当市の基幹産業であり、年間400万人の観光客が訪れる観光産業を軸とし、他産業との連携の促進を図ること、全市的なまちのにぎわいに繋がるものと認識しています。

観光産業については、平成29年10月、MICEの積極的な誘致をはじめ、地域資源や人材、施設を活用した全市観光のさらなる推進を深めるため、登別観光協会が登別国際観光コンベンション協会へと名称変更し、12月には、観光まちづくりの推進と全市観光の実現に向け、登別商工会議所と連携・協力する協定を締結するなど、民間においても全市観光に向けた動きが加速しているところです。

当市としましても、登別国際観光コンベンション協会や登別商工会議所などと連携し、温泉だけではなく登別の魅力を、市内各関係団体の協力をいただきながら